

平成 18 年 12 月 4 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1  
オンコセラピー・サイエンス株式会社  
代表取締役社長 富田 憲介  
(コード番号 4564 東証マザーズ)  
(問い合わせ先) 管理部長 西島雄一  
電話番号 044-820-8251

新生血管阻害剤 OTS102 の適応症拡大に関する契約締結のお知らせ

当社と扶桑薬品工業株式会社にて日本国内における販売権の供与に関する契約を締結しておりますが、がん治療用の新生血管阻害剤 OTS102 に関しまして、当初予定しておりました大腸癌に加え、新たに他の癌種へ契約対象を追加拡大して開発及び販売を行うことで合意し、本日契約を締結致しましたので、お知らせいたします。

< 合意の内容 >

1. 日本における OTS102 の新たな適応癌種について、オンコセラピー・サイエンス株式会社が開発を実施する。
2. 扶桑薬品工業株式会社は開発マイルストーン及び日本における開発経費を負担するとともに、上市後は販売高に応じたロイヤルティー等を支払う。

悪性腫瘍(がん)は、原発巣や転移巣で際限なく増殖し正常組織を破壊することで生命を脅かします。がん細胞が際限なく増殖するためには、がん細胞を養うための酸素や栄養素を運ぶ血流が必要不可欠です。最近、がん細胞自身がいろいろな因子を分泌し新しい血管(腫瘍新生血管)を増やすことがわかってきました。腫瘍新生血管を抑制することで腫瘍の増殖を阻止することができるのが新生血管を阻害する薬剤(新生血管阻害剤)で、新しい考え方のがん治療薬として注目を集めております。

OTS102 は上に述べた新生血管阻害剤の一種ですが、これまでに他社にて開発されてきたものとはまったく違う作用機序を有しております。OTS102 は腫瘍血管の新生に関与する重要な分子で腫瘍新生血管内皮細胞に高発現している **Vascular Endothelial Growth Factor Receptor 2**(血管内皮細胞増殖因子受容体2、**VEGF-R2**)というタンパクの一部からなる薬剤です。OTS102 を投与することにより、腫瘍の新生血管内皮細胞に対する免疫反応が誘導され、その結果強力な抗腫瘍効果が得られることを動物実験で証明しました。また、がん周辺には **VEGF-R2** を発現する新生血管内皮細胞が多数存在しますが、正常血管内皮細胞はほとんど **VEGF-R2** を発現していないことから、OTS102 はがん増殖に関与する新生血管に対してのみ特異的に作用し、副作用の少ない薬剤であることが期待されます。

なお、本件による通期連結業績予想への影響は確定次第発表いたします。

以上